

國立屏東大學 108 學年度日間學士班轉學(暑假)考試試題

系別：應用日語學系 (二年級)

科目：翻譯

注意事項：不必抄題，但請依序將題號標出，並寫在答案紙上，否則不予計分。

一、中翻日 (7分×10題=70分)

1. 收到合格通知時，開心到差點哭了出來。
2. 身為學生，應該遵守學校的規範。
3. 在台灣，有許多日本統治時期的建築物都遭到破壞，非常可惜。
4. 正要出門的時候電話突然響了。
5. 人有失足；馬有失蹄。
6. 這家店的服務非常差勁，下次絕對不再來。
7. 地震時請走樓梯，勿乘坐電梯。
8. 奧林匹克將於 2020 年在東京舉行。
9. 由於少子化的關係，目前日本正嚴重面臨人手不足的問題。
10. 台灣是亞洲第一個同婚合法化的國家。

二、日翻中 (15分×2題=30分)

(一)

「桜のつばみもほころびはじめました」と卒業式の案内状にあったのに」。花束をもった若い女性が小走りに校門に向かいながらこぼしていた。

つばみがほころびるところか、きのう午前、東京の桜の名所、千鳥ヶ淵から北の丸公園に回ったら、どこも花盛り。五分咲きのソメイヨシノもあれば、満開一歩手前のももある。なかには散りはじめた気の早い桜もある。予定した桜祭りの日程が狂って、当惑する主催者も少なくない。

開花が全国的に早くなった原因は今年の記録的暖冬に加えて、桜の花芽の成長に直接関係する1～2月の気温が高かったためだそう。春はためらいがちに来るものとはばかり思っていたが、今年の春は闘牛の牛のように鼻息荒く突進して来た。

(余録)『毎日新聞』2002年3月東京朝刊から)

(二)

言葉とは理性である。そうした言葉を持ち合わせている人間とは、この地上で独特の生き物である。言葉を身につけることによって、人間ははじめて人間らしく存在することができるようになるのだ。こうした考え方は、今の時代、あまりにも言い古された感がするほど、人間たちの共識認識となっていて、小学生の子どもですら、ちゃんとわきまえている。言葉による表現、すなわち、人間の尊厳の確保、ということらしい。言葉を与えられた人間は、しかし、最強の武器であったはずのこの言葉を、まるで自分の不治の病のように感じる時も経験しなければならぬ、ということも憶えておかなければならない。

(「死と言葉」津島佑子)